

● 旅の「こだわり」

安心・充実の旅

- 一般観光旅行とは異なるテーマや趣旨に沿った旅づくり
- 観光を短縮するような買物めぐりはしません!
- 詳しい資料やきめ細やかなご案内-安心・充実の旅
- 格安ツアーに見られる「安かろう・悪かろう」にしない「こだわり」の旅

● ご旅行条件 (要約)

●募集型企画旅行契約
この旅行は株式会社ユーラストラベル(以下「当社」)が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加するお客様は当社と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」)を締結し、(株)ユーラストラベルが問合せ・申込みを受け付けます。条件は下記他、別途旅行条件書(全文)、出発前にお渡しする最終旅行日程表=確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。

●旅行条件・旅行代金の基準
この旅行条件は2018年5月1日を基準としています。また、この旅行代金は2018年5月1日現在の有効なものとして公示されている運賃・規則、又は2018年5月1日現在認可申請中の航空運賃・適用規則を基準として算出しています。

●旅行契約の解除
最少催行人数に達しなかった場合、旅行を中止することがあります。この場合は、出発の23日前(ピーク時は33日前)迄にお知らせします。

●取消料
旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除される場合は、下記の金額を取消料として申し受けます(お一人様)。

契約解除の日	取消料
旅行開始日の前日から起算して遡って40日目にあたる日以降~31日目【ピーク時】4/27~5/6,7/20~8/31,12/20~1/7に開始する旅行	旅行代金の10%

契約解除の日	取消料
旅行開始日の前日から起算して遡って30日目にあたる日以降	旅行代金の20%
旅行開始日の前々日以降	旅行代金の50%
旅行開始後の解除又は無連絡不参加	旅行代金の100%

※オプション・ツアー代金も上記取消料に準じます。
※査証(ビザ)取得実費代金、渡航手続手数料は、そのまま申し受けます。

●旅行代金に含まれるもの(一部例示)
・航空運賃: 旅程に表記した区間の個人包括旅行運賃
・宿泊料金: 2人部屋基準、税・サービス料
・食事代: 旅程に表記のもの
・空港、駅~ホテル間の送迎車料金
・添乗員同行の経費(同行と明示した場合)
・鉄道運賃(旅程に明示したもの)
・旅程に明示した市内(郊外)見学のガイド料、入場料、チップ

●旅行代金に含まれないもの(一部例示)
・旅程以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等
・渡航手続費用: 旅券印紙代(新規に申請される場合)
・渡航手続手数料: 出入国記録等書類作成費用、査証(ビザ)取得実費・手数料
・超過手荷物料金: 規定の重量・大きさ・個数を超える分

・個人的費用: 電話、電報、FAX、クリーニング代、追加飲食費用
・一人部屋追加料金(相部屋の方がいない場合も同様)
・空港施設使用料、航空保険料および保安料
・訪問国入国税、燃油特別付加運賃
・日本国内の交通費、前泊の費用、ポーター
・任意の海外旅行傷害保険料、オプション料金

●その他(1)旅行代金はお一人分を表示しています。
(2)当社所定の申込書にお客様のローマ字氏名記入の際には、使用されるパスポートに記載されている通りにご記入ください。氏名が誤って記入された場合は、航空券の発行替え、関係する機関への氏名訂正などが必要で、この場合、当社は第15条「旅行者の交替」に準じ、交替手数料をいただきます。なお、運送・宿泊機関の事情により、氏名の訂正が認められず、旅行契約を解除いただく場合もあります。この場合には、「旅行契約後の取消」に準じて手数料をいただきます。

●当社の募集型企画旅行にご参加いただくことにより、航空会社のマイレージを受けられる場合がありますが、同サービスに関するお問合せ、登録等はお客様自身で当該航空会社へ手続きいただけます。

●時間帯の目安
以下の通りです。航空機、バス等の移動時刻をもとにした目安です。実際の時刻とは異なる場合がありますので、予めご了承ください。

早朝	朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜
4時	6時	8時	12時	17時	19時	23時

● 問合せ・申込先

東京都知事登録旅行業 第3-6973号 日本旅行業協会正会員 株式会社ユーラストラベル
総合旅行業取扱管理者: 榊原晋治

“いい旅”育てて57年

ユーラストラベル ユーラストラベル

☎ **03-6453-6633**
FAX **03-6453-6630** 団体旅行課(滝澤・榊原・徳植)

〒108-0014 東京都港区芝5-13-18 いちご三田ビル9階

●Eメール: tokyo@euras.co.jp
●URL: <http://www.euras.co.jp>

●営業日: 平日(月~金曜日)9:30~17:30 / 土・日曜日、祝日は休みです
※当パンフレット掲載の写真はすべてイメージです。

観光庁長官登録旅行業第1906号 日本旅行業協会正会員

株式会社タビーズ

〒108-0014 東京都港区芝5-13-18 いちご三田ビル9階

● 申込み方法

- 1 当パンフレットの「参加予約票」をお送りください**
下記の「参加予約票」にご記入の上、旅行社宛にご連絡ください。
※お電話、メールにてのお問合せ・お申込み希望のご連絡でも受け付けています。※当社ホームページからでも可。「正式申込書」にご記入⇒添付してメールあるいはFAX可。
- 2 正式申込みに必要な書類を旅行社からご案内**
「参加予約票」のご連絡後、旅行社より**正式申込書**と**諸条件書類**から**旅行保険申込書**等をお送りします。
※書類到着後に条件を確認いただき、正式申込書の手続きをお願いします。
- 3 正式申込み手続き** (下記①②が旅行社に到着し正式申込み完了)
①**正式申込書**ご記入の上、旅行社へお送りください。
②**申込金**(旅行費用内金) **50,000円**を下記口座へお振込みください。
▶**口座名義: (株)ユーラストラベル**
●ゆうちょ銀行 記号番号 00180-8-265002 (〇~九店)
●みずほ銀行 神谷町支店(普) 口座番号: 1370507
●りそな銀行 麻布支店(普) 口座番号: 1782149
※領収書は、銀行あるいは郵便局が発行する明細書をもって替えさせていただきます。

参加予約票 **工藤芳弘氏が同行・解説するアンネ・フランクの軌跡をたどる旅** (ユーラストラベル宛)

①	氏名	フリガナ:	電話
	住所		FAX
			携帯
			メール
②	氏名	フリガナ:	電話
	住所		FAX
			携帯
			メール

●都学校生協 □組合員 □未組合員 ●□()学校 □継続組員 ※所属学校名と都学校生協組合員の有無を記載ください
※当「参加予約票」をお送りいただいた後、旅行社より申込みに必要な諸案内をご住所へお送りいたしますので、渡航手続きを書面に沿ってお進めください。

本当のアンネを知って
ますか!?

アンネ・フランク研究家
都学校生協副理事長、元都教組委員長

工藤芳弘氏が同行・解説!

-15年で生涯を終えた少女アンネの生誕の地から終焉の地へ-

アンネ・フランクの軌跡をたどる旅

ドイツ
オランダ
ポーランド **12日間**



期間 **2018.11/6 (火) ▶ 11/17 (土)**
費用 **428,000円** (※燃油代・諸税別)
締切 **9/5 (水)** ※申込み先着順 **発着 成田**

- アンネ生誕のフランクフルトから祖母の家アーヘン、アムステルダムへ
- アムステルダムで、小学校時代ゆかりの場所や通った学校、日々訪れた場所をめぐる
- ナチスのユダヤ人迫害から2年間逃れた有名な「隠れ家」を見学
- アンネが収容されたヴェステルボルグ通過収容所、アウシュビッツ強制収容所、終焉の地ベルゲン・ベルゼン強制収容所へ
- 商業都市フランクフルト、海運で栄えた運河の街アムステルダム、中世の面影を残すクラクフ、ハンザ同盟の一員として繁栄したハノーファーを堪能

アンネ・フランクの写真は、13歳の時のものまでしかありません。ユダヤ人は写真を撮ることを禁止されていたためです。連行される直前のアンネは、身長が160センチ以上もありました。そして証言によれば、15歳になったアンネは、モデルのように綺麗な女性になっていたということです。

今回の旅は、生誕の地フランクフルト・アム・マインから終焉の地となったベルゲン・ベルゼン収容所まで、アンネがたどったすべての地を訪れるという画期的な企画です。15年というアンネ・フランクの生涯を通じて、ホロコーストとは何だったのか、一緒に考えてみませんか。

東京都学校生活協同組合副理事長
工藤 芳弘



旅行企画 **東京都学校生活協同組合** 〒154-0017 東京都世田谷区世田谷 1-41-12
TEL:0120-800-535 FAX:0120-100-130 携帯:03-3428-8041 [URL] <http://www.tokyogak.coop>

旅行代金・諸条件	
旅行期間	2018年11月6日⑩～11月17日④ 12日間
旅行代金	428,000円 (※2名1室利用)
実施人数	30名様(最低実施人数20名様) ※20名未満の場合は、旅行費用変更して実施した際の参加有無を伺います
申込締切	9月5日⑩ ※定員になり次第、締切ります
別途費用	燃油サーチャージ・諸税(51,810円) ※燃油代・諸税は航空券発券時の換算率によって増減することがあります
一人部屋追加	106,500円 ※相部屋の方がいない場合も要追加費用
発着地	成田空港

▶利用航空会社：ポーランド航空、オランダ航空 ▶利用予定ホテル：フランクフルト(レオナルド)、アーヘン(レオナルド)、アムステルダム(ハルピゾン)、クラクフ(ノボテル)、ハノーファー(レオナルド) ※3~4ツ星利用(バスタブのない場合もあります) ▶添乗員同行(1名)

スケジュール	食事(朝・昼・夕)	宿泊地
1 成田▶午前(09:30~12:00)発▶空路欧州都市へ▶空路フランクフルトへ ●夕刻：着後、ホテルへ	食事 ☒ ☒ ☒ フランクフルト	
2 ●午前：フランクフルト市内見学＝街のシンボル◎旧市庁舎レーマーと広場、平和の象徴◎パウルス教会、◎ユダヤ博物館とユダヤ人街記念館 ●午後：アンネ・フランク生誕の地をめぐる＝◎生家と証明看板、◎二度目の家と父オットーの美家	食事 ㉚ ㉚ ㉚ フランクフルト	
3 ●午前：陸路、専用車にて駅へ(※乗車前に自由昼食用の食べ物を購入) ●午前(10:29発)：鉄道にてカール大帝ゆかりの大聖堂で有名な街アーヘンへ ●午後：アンネ・フランクゆかりの地と市内見学＝一家がアムステルダム移住前に暮らした◎祖母の家	食事 ㉚ ☒ ㉚ アーヘン	
4 ●午前：専用車にてオランダの首都アムステルダムへ(約230* _€) ●午後：アンネ・フランクゆかりの地を訪問①＝強制的に転校させられた◎ユダヤ人学校跡、父オットーの◎ペクタコン商会跡、◎友人の家、革新的といわれたアンネが通った◎モンテツソリー小学校 (※翌日の見学場所と入れ替わる場合有り)	食事 ㉚ ㉚ ㉚ アムステルダム	
5 ●終日：アンネ・フランクゆかりの地を訪問②＝フ랑ク家がナチスのユダヤ人迫害から2年間逃れた●「アンネの隠れ家」、◎「アンネの隠れ家」の周辺と小窓から眺めていた西教会、◎隠れ家前の居住、ナチスの迫害で焼き討ちされた◎シナゴーク、レジスタンスとユダヤ人劇場跡、アンネが通った◎本屋	食事 ㉚ ㉚ ☒ アムステルダム	
6 ●午前：専用車でアウシュビッツ移送前に送られた収容所へ(ドレンテ/約175* _€) ●午前：ヴェステルボルグ通過収容所の見学＝犠牲者の数だけ敷かれた◎星のオブジェ、◎収容所跡、◎復元された施設、◎追悼記念碑 ●午後：自由行動(アムステルダム)＝ゴッホ美術館や国立博物館、レンブラントの家の見学などお楽しみください ●夕刻：OP運河クルーズ＝ライトアップされた「運河の街」アムステルダムを運河から満喫する	食事 ㉚ ☒ ☒ アムステルダム	
7 ●午前(09:30~12:00発)▶空路ワルシャワ(11:30~13:00着)へ ●午後：ワルシャワ市内見学＝●ユダヤ人歴史博物館、◎ゲッター記念碑、◎旧市街の散策(バルバカンや市場広場など) ●午後(17:45発)：特急列車にて古都クラクフ(19:56着)へ ●夕刻：着後、ホテルへ	食事 ㉚ ㉚ ㉚ クラクフ	
8 ●早朝(07:30~08:00発)：陸路、専用車にてオシフィエンチムへ ●午前：アウシュビッツ強制収容所の見学＝●記録映画、◎入口ゲート、●収容棟(4号棟~7号棟)、◎「死の壁」、●ガス室と焼却炉 ●午後：ビルケナウ絶滅収容所の見学＝●見張り塔、◎引き込み線跡、●収容棟跡、ナチスに破壊された◎ガス室跡と焼却炉跡 ●夕刻：陸路、再びクラクフへ	食事 ㉚ ㉚ ☒ クラクフ	
9 ●午前：クラクフ旧市街の見学＝◎城壁、◎市場広場、◎織物会館 ●午後：陸路、専用車にて空港へ ●午後(17:30発)：発▶空路、北ドイツの主要都市ハノーファーへ ●夕刻：着後、ホテルへ	食事 ㉚ ㉚ ☒ ハノーファー	
10 ●午前：ベルゲン・ベルゼン強制収容所の見学＝◎収容所跡を示す石壁、●ユダヤ人資料館、◎アンネと姉マルギーの墓碑～再び専用車にて移動 ●午後：ハノーファー市内見学＝◎ライネ城(州庁舎)、◎市庁舎、◎ワーテルロー記念柱	食事 ㉚ ㉚ ☒ ハノーファー	
11 ●午前(09:30~12:00)発▶空路、欧州都市へ 乗継ぎ手続～▶空路、帰国の途へ	食事 ㉚ ☒ ☒ 機中	
12 ●午前(08:00~11:00)成田着	食事 ☒ ☒ ☒	

註：㉚印=食事付き、☒印=自由食、☒印=機内食、OP=オプション・ツアー ●印=入場見学、◎印=下車見学、○印=車窓見学、▶=航空機

東京都学校生協副理事長
元東京都教職員組合委員長

工藤 芳弘氏(くどう よしひろ)

同行・講師 アンネ・フランク研究者

●プロフィール
都内の中学校教師をへて、東京都教職員組合(都教組)の書記長、委員長を歴任。教師時代から東京大空襲、ヒロシマ・ナガサキ、沖縄、ホロコースト(シヨアー)などの学習にとりくんできた。とりわけアンネ・フランクについては、ライフワークとして研究しており、旅の企画や学習会、海外での案内も行っている。現在、都教組専門委員、東京大空襲・戦災資料センター運営委員。

街 アンネゆかりの都市と街

●フランクフルト FRANKFURT **ドイツ商業・金融の中心地**
1-2日目/2連泊

●アンネ・フランク生誕の地
ライン川の支流、メイン川が流れるフランクフルトは、商業、金融の中心地。ドイツの日銀ともいうべきドイツ連邦銀行、ユーロを統括する欧州中央銀行の所在地でもある。
中世、神聖ローマ帝国皇帝の選挙や戴冠式の重要な儀式も行われ、かつての栄華を偲ばせる大聖堂、旧市庁舎などもある。
文豪ゲーテの生誕地としても有名。

●アーヘン AACHEN **かつてのフランク王国の都**
3日目/1泊

●母エーディットの出身地
オランダ、ベルギーの国境に隣接する古代ローマ時代から栄える温泉地。
街の歴史は8世紀のカール大帝よりも前までさかのぼることができます。1世紀頃には、カール大帝とその後継者やローマ人の兵士たちがこの地で温泉を楽しんでいたとも伝えられている。
ヨーロッパ北部で最も古い大聖堂が、このアーヘンにあり、ユネスコの世界遺産に登録されている。

●アムステルダム AMSTERDAM **世界的に有名な運河の街**
5-7日目/3連泊

●フ랑ク一家ゆかりの地
ハンザ同盟、東・西インド会社の交易で発展・繁栄した貿易の街。波紋のように広がる無数の運河、狭い路地と中世の商家が運河沿いに軒を連ねるオランダの首都。街の名前は、13世紀にアムステル川をダムでせき止めて町を築いたことに由来する。
また世界で最も美術館・博物館が密集し、ゴッホ、フェルメール、レンブラント等の巨匠を輩出した芸術の都でもある。

●クラクフ KRAKOW **戦火を免れた城壁の古都**
7-9日目/2連泊

●アウシュビッツ訪問の玄関都市
大戦の戦火を免れた中世のたたずまいを今なお残す城壁に囲まれた世界遺産の古都。ポーランド第二の都市であり、17世紀初頭にワルシャワに遷都するまでポーランド王国の首都として栄え、コペルニクスも学んだヨーロッパ最古のヤゲウオ大学がある。
第二次大戦時はナチス・ドイツの占領下におかれ、映画「シンドラーのリスト」の舞台でもある地域にゲッターが設立された。

●ハノーファー HANNOVER **優美な庭園と見本市の町**
9-10日目/2連泊

●アンネ終焉の地の玄関都市
ライン川沿いにある北ドイツ、ニーダーザクセン州の州都。産業、商業、学術研究、見本市の街として有名。1714年から123年間に渡り、ハノーバー選帝侯が英国国王を兼任したという歴史を持ち、ワーテルローの戦いでは、ドイツ唯一の軍隊としてハノーファーから参戦し、英軍とともにナポレオン率いるフランスを相手に戦い、彼を打倒することに貢献した。

アンネ・フランク

1929-1945 ANNE FRANK

1929年、銀行家だったユダヤ系ドイツ人の父オットー・ハインリヒ・フランクとアーヘンで有名な資産家の娘であり、同じくユダヤ系ドイツ人の母エーディット・フランクの次女として、ドイツのフランクフルト・アム・マインに誕生する。家族構成は、父・母・姉(マルギー)とアンネの4人家族。
当時ドイツでは反ユダヤ主義を掲げるナチ党(国家社会主義労働者党)が勢力を伸ばし、1932年に国会で最大議席を獲得～翌33年に党首アドルフ・ヒトラーが首相に任命、ドイツの政権を掌握する。大規模な反ユダヤの動きが激化、職業官吏再建法(対ユダヤ人法)によって職を追われ、差別・隔離が進められる。叔父の勧めでオランダ・アムステルダムに亡命、34年から本格的にオランダでの生活が始まる。1940年、ドイツ軍がオランダ侵襲～占領下にユダヤ人迫害がはじまり、42年に一家で「隠れ家」に入る。2年後の44年に「隠れ家」が発見され全員が逮捕。44年8月にヴェステルボルグ通過収容所へ連行、44年9月アウシュビッツ強制収容所へ移送。2日後に父オットー以外がビルケナウ絶滅収容所へ。44年10月に終焉の地でもあるベルゲン・ベルゼン強制収容所へ送られ、45年3月31日にチフスによりこの世を去る。

●1929.6/12 誕生
●1933. アーヘンの祖母の家へ
●1934.2 アムステルダムに脱出
●1935.9 モンテツソリーに入学
●1940.8 「ユダヤ人登録」する
●1941.8/末 ユダヤ人学校へ転入
●1942.6/12 父から「日記」をもらう
●1942.7/6 一家で「隠れ家」へ入る
●1944.8/4 「隠れ家」発見、逮捕
●1944.8 通過収容所へ連行
●1944.9/3 アウシュビッツ収容所へ
●1944.9/5 ビルケナウ収容所へ
●1944.10/30 ベルゲン・ベルゼンへ
●1945.1/6 母アウシュビッツで死亡
●1945.3/28 姉マルギー死亡
●1945.3/30 アンネ、チフスで死亡

緑 アンネの「隠れ家」と収容されたナチス・ドイツの収容所



●「アンネ・フランクの家」 ナチスの迫害から2年逃れた有名な「隠れ家」
4日目/アムステルダム

アムステルダムにおけるナチスのユダヤ人迫害が強まり、姉マルギーへの労働キャンプへの召集令状が届いたことを契機に、父オットーの職場3階と4階を隠れ家にした潜伏生活ははじまる。さらに同僚のファン・ペルス夫妻と息子のペーター、歯科医のプフェファーが加わる。
44年にゲシュタポにより「隠れ家」が発見され、潜伏生活は終わりを告げる。

●ヴェステルボルグ通過収容所 各地の収容所へ移送するための収容所
6日目/アムステルダム

ナチス・ドイツがオランダ北東部にあるホーフハーレンに置いていた通過収容所。ヴェステルボルグの北方10キロに存在した。
この強制収容所は通過収容所であり、第二次世界大戦中、オランダのユダヤ人やジプシー(ロマ民族)はまずここへ送られた後、さらにオランダの外にある絶滅収容所や強制収容所へと移送された。

観 オプション・ツアーのご案内

OP 運河の街ナイト・クルーズ 6日目/アムステルダム

水の都アムステルダムの運河クルーズ！
運河沿いには17世紀の豪商の邸宅が立ち並び、教会やレンガ造りの建物など水上から町並みをご覧ください。
11月11日⑩ 19時00分頃スタート
19,500円(※お一人様料金)
6名様以上で催行 日本語ガイド、往復送迎車、乗船代込み
※当日の天候によっては変更になる場合がございます。
※チケットは買取りにつき、お申込み後の取消は全額ご負担となります



●アウシュビッツ強制収容所 8日目/クラクフ

ホロコーストで最大級の犠牲者を出した場所
1940年クラクフの西60キロのオシフィエンチムに築かれたナチスの強制収容所。ソ連軍(連合軍)によって解放されるまで、ユダヤ人をはじめ約110万人以上が虐殺された場所。
現在は博物館として復元され、ドキュメント映画～入口の門「ARBEIT MACHT FREI」、様々な展示がされている旧「収容棟」、ガス室、焼却炉、銃殺の現場「死の壁」などを展示している。

●ビルケナウ絶滅収容所 8日目/クラクフ

殺戮・虐殺のみを目的として造られた収容所
アウシュビッツ第2収容所として建設。アウシュビッツから2*_{km}ほど離れた広大な敷地(面積175平方*_{km})に300棟以上のバラックが並ぶアウシュビッツより更なる大規模な大殺戮工場。
鉄道の引き込み線が、まっすぐに敷地内へ伸び、線路が尽きるほどの所に破壊されたガス室、焼却炉の跡がある。現在は、その他では見張り棟、引き込み線、バラックが残っている。

●ベルゲン・ベルゼン強制収容所 10日目/ハノーファー

アンネ・フランク終焉の地
1944年11月にアウシュビッツ=ビルケナウ強制収容所からアンネと姉マルギーをはじめ、「回復可能な病人」3000人の女囚が移送された。劣悪な衛生環境下、1945年3/28に姉マルギーが、2日後にアンネもチフスによって死亡。
敷地内には姉妹の墓碑があるが、膨大な遺体、遺骨の中で特定することは難しかったため、墓碑の下に遺体が埋葬されてはいない。

アンネ・フランク事前学習講演会のご案内

アンネ・フランクとホロコース

ツアー同行・解説者のアンネ・フランク研究者、都学校生協副理事長、元都教組委員長の工藤芳弘氏による講演会を開催します。
是非、ご参加ください。

第1部 「アンネ・フランク 15歳の生涯をたどる」
●日時： 7月28日④ 14時00分開演(13時30分開場)
●場所： エデュカス東京(全国教育文化会館)5階《B》会議室
●会費： 500円

第2部 「アンネ・フランクの願い」
●日時： 8月25日④ 14時00分開演(13時30分開場)
●場所： エデュカス東京(全国教育文化会館)5階《A》会議室
●会費： 500円

学習講演会に参加希望の場合は、「事前学習講演会チラシ」よりお申込みください。
※お手元に「事前学習講演会チラシ」がない場合は、お送りいたしますので、ご連絡ください。